

文化庁説明資料

若手クリエイターの創作活動を支援することにより、次世代のメディア芸術分野を担うクリエイターの水準向上を図るとともに育成環境を整備する。また、海外の優れたクリエイターを招へいし、メディア芸術分野における国際交流を推進するとともに、交流機会を通じた国内クリエイターの育成を促し、もって我が国のメディア芸術水準の向上と発展に資する。

事業の流れ

国内クリエイター育成支援

海外クリエイター招へい

1. アドバイザーの決定

・クリエイターから応募された企画の審査、および制作に関するアドバイスが可能な有識者4～5名にアドバイザーを依頼。

2. 公募・選定

・文化庁メディア芸術祭において受賞作品もしくは審査委員会推薦作品に選ばれた若手クリエイターを対象に新しい作品制作の企画を募集。6名(組)程度を決定。

○実績

応募数：【H27】26名(組)、【H28】23名(組)、【H29】25名(組)
採択数：【H27】6名(組)、【H28】6名(組)、【H29】6名(組)

・国際的な芸術祭、映像祭、ゲームショウ、コミックフェスティバルに選出され作品を展示・上映したことがある等、優れた海外の若手クリエイターを対象に、日本での作品滞在制作の企画を募集。3名程度を決定。

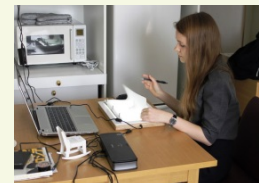
○実績

応募数：【H27】54か国 199名、【H28】55か国170名、【H29】51か国169名
採択数：【H26】2か国 3名、【H27】3か国 3名、【H29】12月上旬選考予定

3. 制作・研修・交流



・企画内容に応じた制作費の支援、担当アドバイザーとの面談(3回程度)による制作に関する技術的・理論的な支援を実施。



・渡航費、滞在費、制作環境等の支援、アドバイザーとの面談や国内のクリエイターとの交流を実施。

4. 成果発表



・作品の展示・上映機会や、本事業による成果をクリエイター自らが発表する「成果プレゼンテーション」等の機会を提供。

・クリエイターは翌年度末までに作品を完成させ、各自コンペティションへの応募や、展覧会等への出品を行い、次なる成果を目指す。

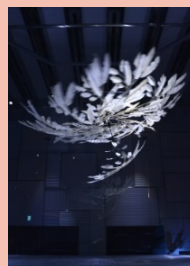
国内クリエイター支援作品の主な実績



平成23年度支援作品
藤木淳『ゲームキョウカイ』(『Game Border』)
アルスエレクトロニカ2012でHonorary Mention受賞



平成24年度支援作品
榊原澄人『E IN MOTION No.2』
アヌシー国際アニメーションフェスティバル入選



平成25年度支援作品
小松宏誠『Lifelog グライダー』
Lexus - Inspired By Design
(LEXUS Middle East)の
CMIに作品提供

海外招へいクリエイターの主な実績



平成22年度招へい作家
ジョゼフ・ピアス『バブ』
ロサンゼルス・フィルムフェスティバル2012
最優秀短編実験アニメーション賞受賞



平成26年度招へい作家
アンナ・ブダノヴァ『Among the Black Waves』
第16回広島アニメーションフェスティバル
ヒロシマ賞受賞

若手アニメーター等の人材育成

(平成29年度予算額:210百万円)
平成30年度要求額:210百万円

＜事業内容＞

一線級の監督の下、若手アニメーターを起用した制作スタッフによるオリジナルアニメーション作品の制作を通じ、オン・ザ・ジョブ・トレーニングを組み込んだ制作現場における若手アニメーター等の育成を支援する。また、制作された作品は上映会等を実施し、発表機会を提供する。

＜対象とする主な若手アニメーター＞

動画職を含むアニメーター経験が1年以上で、原画職経験が3ヶ月以上、3年以下で、30歳以下のアニメーター。

①施策の実施状況

平成29年度：委託（作品制作）団体

株式会社MAGCAイメージワークス・株式会社ロボット『TIMEDRIVER 僕らが描いた未来 (仮)』

合同会社スタジオななほし・ウサギ王株式会社『えんぎもん (仮)』 **平成29年度作品キービジュアル**

株式会社トマソン『ミルクパニック-twelve- (仮)』

株式会社ピコナ『Midnight Crazy Trail (仮)』



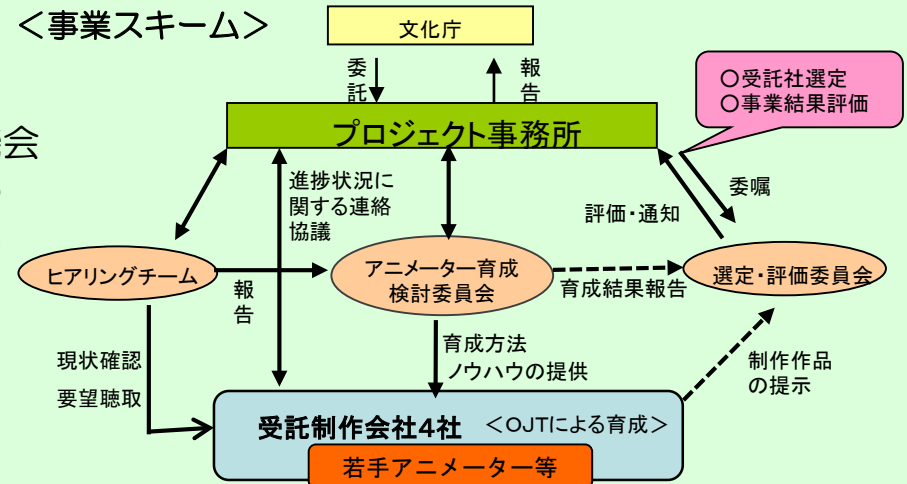
過去の育成対象人数・受託制作会社数

平成27年度	24名	4団体
平成28年度	27名	4団体
平成29年度	24名	4団体

②今後の展望

今後も引き続き、本事業を実施することにより、制作発表機会の充実及びアニメ業界によるアニメーターの育成方法に関する新たな知見の獲得と方法論の確立を目指すとともに、得られた成果を業界全体へ普及・活用等を行うことを目標に、若手アニメーターの人材育成を図る。

＜事業スキーム＞



<参考>

平成22年：予算 214,572千円 / 育成人数 33名 / 申請数 16

株式会社 アセンション 『キズナー撃』
株式会社 テレコム・アニメーションフィルム 『おぢいさんのらんぷ』
株式会社 ピーエーワークス 『万能野菜ニンニンマン』
株式会社 プロダクション・アイジー 『たんすわらし』

平成23年：予算 214,572千円 / 育成人数 22名 / 申請数 11

株式会社 アンサー・スタジオ 『ぷかぷかジュジュ』
株式会社 白組 『しらんぷり』
株式会社 テレコム・アニメーションフィルム 『BUTA』
株式会社 プロダクション・アイジー 『わすれなぐも』

平成24年：予算 214,568千円 / 育成人数 24名 / 申請数 18

株式会社 ゴンゾ 『龍～RYO～』
株式会社 TRIGGER 『リトル ウィッチ アカデミア』
有限会社 ZEXCS 『アルヴ・レズル』
株式会社 マッドハウス 『デスビルヤード』

平成25年：予算 209,785千円 / 育成人数 26名 / 申請数 15

株式会社 ウルトラスーパーピクチャーズ 『アルモニ』
株式会社A-1 Pictures 『大きい一年生と小さな二年生』
シンエイ動画株式会社 『パロルと未来島』
株式会社 スタジオよんどしい 『黒の栖』

平成26年：209,785千円 / 育成人数 25名 / 申請数 5

株式会社 ジェー・シー・スタッフ 『アキの奏で』
株式会社 スタジオディー 『音楽少女』
有限会社 SynergySP 『ハッピーカムカム』
株式会社 手塚プロダクション 『クミとチューリップ』

平成27年：209,792千円 / 育成人数 24名 / 申請数 6

株式会社 シグナル・エムディ 『カラフル忍者いろまき』
株式会社 スタジオよんどしい 『UTOPIA』
株式会社 手塚プロダクション 『かっつけねえ！』
株式会社 武右エ門 『風の又三郎』

平成28年：209,792千円 / 育成人数 27名 / 申請数 6

株式会社 スタジオコメット 『ちゃらんぽ島(ランド)の冒険』
株式会社 STUDIO4℃ 『RedAsh -GEARWORLD-』
日本アニメーション株式会社 『げんばのじょう-玄蕃之丞-』
株式会社 ワオ・コーポレーション・SSS合同会社・株式会社 スタジオライブ
『ずんだホライずん』

日本映画の振興

(29年度予算額 946百万円)
30年度要求額 1,133百万円

多くの人々に支持され親しまれている総合芸術であり、かつ海外への日本文化発信の有効な媒体である日本映画の振興を図る。

日本映画の創造・交流・発信

要求額 919百万円 (789百万円)

①日本映画製作支援事業【704百万円】

- ・優れた日本映画の製作活動に対する支援
- ・**新進映画監督等による映画製作への支援(新規)**
- ・字幕制作・音声ガイド制作(ハリアフリー映画60作品)
- ・**外国語字幕制作60作品(新規)**

②ロケーションに係るデータベースの運営【36百万円】

- ・各地フィルムコミッションの持つ情報を集約した**データベースを改修しインターネット上での公開を充実させることで、地方等において映画製作の促進を図る(拡充)**

③文化庁映画賞【10百万円】

- ・日本映画界で顕著な業績をあげた者の顕彰
- ・優れた文化記録映画作品の顕彰及び上映会

④海外映画祭への出品等支援【67百万円】

- ・日本映画の海外映画祭への出品に対する支援

⑤全国映画会議【15百万円】

- ・映画界をとりまく課題等に関して関係者が意見交換を行うシンポジウムの実施

⑥アジアにおける日本映画特集上映事業【81百万円】

- ・アジア諸国において日本映画の特別上映や人材育成につながる交流事業を実施

⑦「日本映画情報システム」の整備【7百万円】

- ・日本映画に関する情報を集約したデータベースを作成しインターネット上で公開

自律的な創造サイクルの確立

人材の育成と社会的認知の向上

若手映画作家等の育成

要求額 214百万円 (157百万円)

①短編映画作品支援による若手映画作家の育成【173百万円】

- ・ワークショップや実際の短編映画作品の制作を通して、若手映画作家等に映画製作に必要な技術・知識の習得機会を提供
- ・**長編作品制作への支援(新規)**

②映画関係団体等の人材育成事業の支援【41百万円】

- ・映画製作現場における学生の実習(インターンシップ)受入れの支援



映画フィルムの保存・継承

デジタル映像等の保存活用

要求額 350百万円 (別掲)

映画分野における緊急的活重点的な取り組みに対して支援する。

- ①映画フィルムのデジタル保存・活用等
- ②映画関連資料の保存活用等
- ③新進的な映画や若手クリエイターの作品等の発信等
- ④訪日外国人等に対する映画の多言語字幕上映等

我が国の存在感を高める日本映画の振興と日本文化の理解の促進